

シラバス: 批判的思考と問題解決

1. コース概要

コース名: 批判的思考と問題解決

科目コード: CTPS401

担当教員: ———

- メール: example@hs-univ.edu.jp
- オフィスアワー: 火曜日 14:00-16:00 (事前予約制)

コースの目的: 本コースは、学生が批判的思考と問題解決のスキルを身につけ、日常生活や学問、職場での課題に対して効果的に対応する力を養うことを目的としています。論理的思考、分析力、創造的な問題解決手法などを学びます。

2. 学習目標

学習成果:

- 批判的思考の基本原則を理解する。
 - 論理的思考と推論の技法を習得する。
 - 問題解決のプロセスと方法論を理解する。
 - 創造的な問題解決の技法を実践する。
 - 日常や職場での問題に対して適用できる具体的なスキルを習得する。
-

3. コース構成

モジュールと単元:

- モジュール1: 批判的思考の基礎
 - 1.1 批判的思考とは何か
 - 1.2 論理と推論の基本
- モジュール2: 問題解決のプロセス
 - 2.1 問題の特定と分析
 - 2.2 目標設定と計画策定
- モジュール3: 創造的な問題解決
 - 3.1 創造的思考の技法
 - 3.2ブレインストーミングとマインドマッピング
- モジュール4: 実践的な問題解決手法
 - 4.1 ケーススタディとシミュレーション

- 4.2 チームでの問題解決
- モジュール5: 応用と評価
 - 5.1 問題解決の実践例
 - 5.2 結果の評価とフィードバック

学習リソース:

- 教科書:『批判的思考と問題解決の手法』(著者: ———)
 - 参考書:『論理的思考と創造的問題解決』(著者: ———)
 - オンラインリソース: 論理学と問題解決に関する学術論文、関連するオンライン講義
-

4. 授業計画と進行

スケジュール:

- 第1週: コースの導入と批判的思考の基礎
- 第2週: 論理と推論の基本
- 第3週: 問題の特定と分析
- 第4週: 目標設定と計画策定
- 第5週: 創造的思考の技法
- 第6週:ブレインストーミングとマインドマッピング
- 第7週: ケーススタディとシミュレーション
- 第8週: チームでの問題解決
- 第9週: 問題解決の実践例
- 第10週: 結果の評価とフィードバック
- 第11週: プロジェクト発表とフィードバック

授業内容:

- 各週のテーマ:
 - イン트로ダクションと講義
 - グループディスカッション
 - 関連ビデオクリップの視聴
 - 実践的な演習と課題
-

5. 評価方法

評価基準:

- 試験: 30%(中間試験と期末試験)
- プロジェクト: 40%(グループプロジェクトと個人プロジェクト)
- レポート: 20%(指定されたテーマについてのレポート)
- ディスカッション参加: 10%(グループディスカッションとクラス参加)

具体的な基準:

- 試験: 知識の理解度と応用力
 - プロジェクト: 創造性、実践的な解決策の提案、チームワーク
 - レポート: 論理的な構成、分析の深さ、文献の活用
 - ディスカッション参加: 積極的な参加態度と貢献度
-

6. サポートとフィードバック

学生サポート:

- メンター制度: メンターによる個別指導とサポート
- オフィスアワー: 教員との個別相談(事前予約制)

技術サポート:

- オンラインツールガイド: オンライン学習プラットフォームの利用方法
 - 技術的なトラブルシューティング: 学習管理システム(LMS)のサポート
-

7. 利用上の注意事項

前提条件:

- 必要な前提知識: 基礎的な論理学とコミュニケーションの知識
- 推奨される前提科目: 論理学入門、コミュニケーション学

準備事項:

- チェックリスト: 教材の購入、事前の学習、技術的な準備(アカウント作成、ソフトウェアのインストールなど)

学習の進め方:

- 時間管理のヒント: 週ごとの学習計画とタイムマネジメントのアドバイス
-

8. キャリア支援とコミュニティ

就職サポート:

- キャリアカウンセリング: 個別相談と履歴書作成支援
- ネットワーキングイベント: 業界専門家との交流イベント
- インターンシップ機会: コンサルティング企業や研究機関でのインターンシップ紹介

アルムナイネットワーク:

- 卒業生ネットワーク: 活動紹介とメンタリングプログラム

- 定期的なイベント: 卒業生向けのセミナーやワークショップ